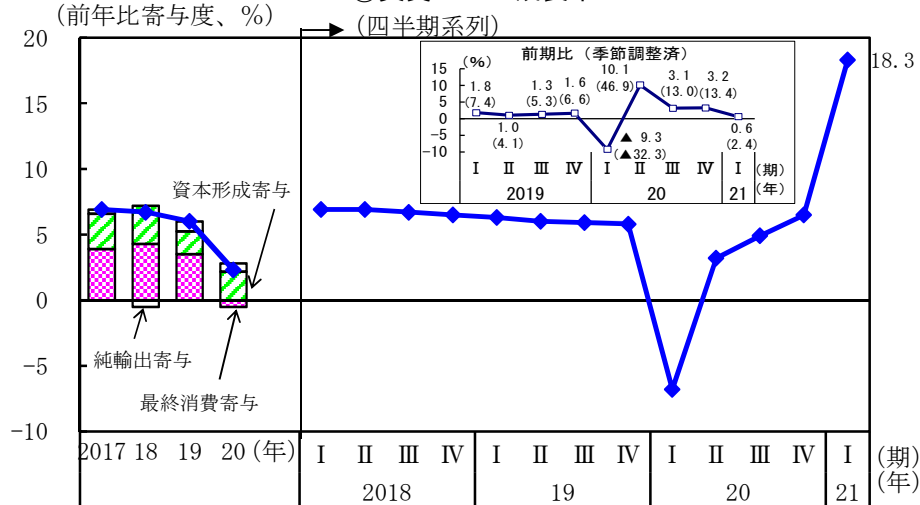


## 2. アジア地域

### 中国：

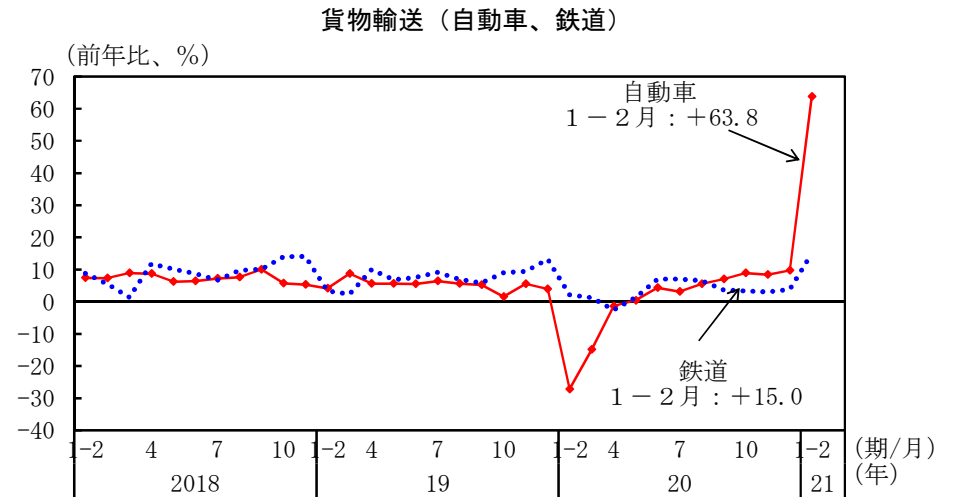
○中国では、景気は緩やかに回復している。

#### ①実質GDP成長率

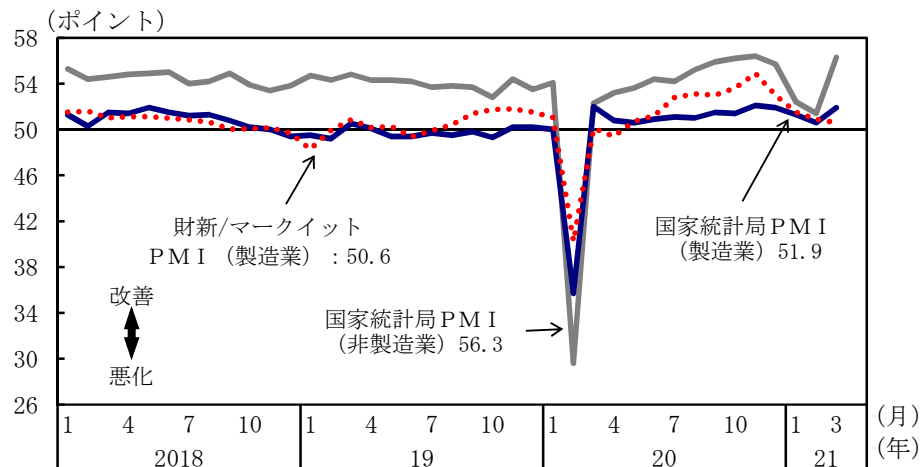


(備考) 前期比のグラフの ( ) 内の数値は内閣府による年率換算。

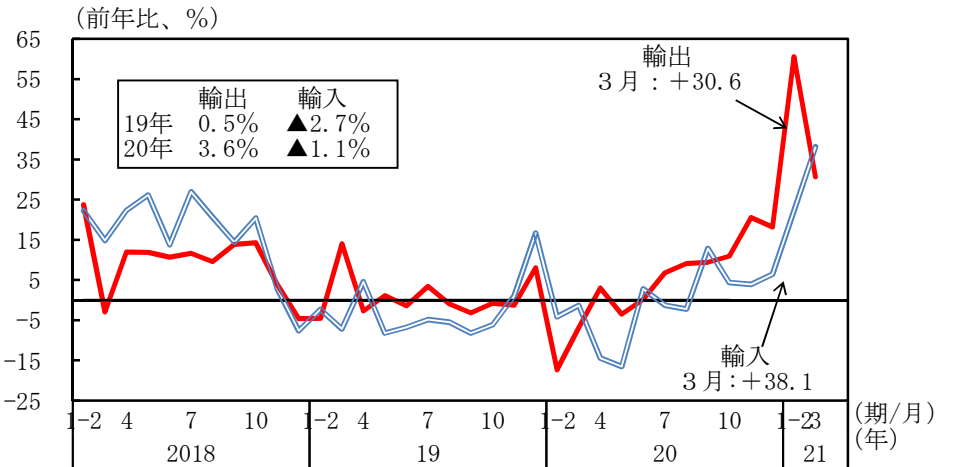
#### ②輸出は着実に増加している



(備考) 1. 輸送量ベースの前年比。  
2. 自動車輸送量の18年12月の伸びは未公表のため、当局発表の累計の伸びを基に内閣府試算。

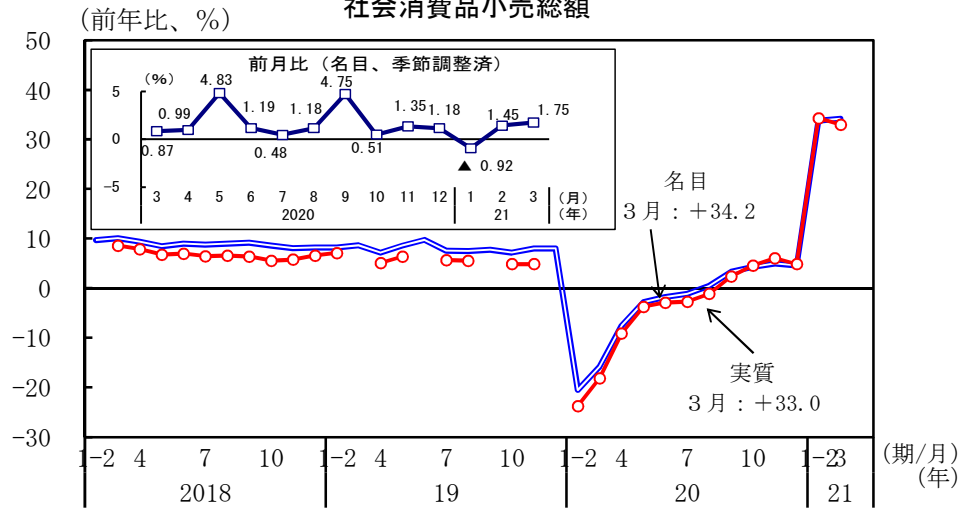


(備考) 1. 国家統計局、財新/マークイットより作成。財新は中国の経済メディアであり、マークイット社との共同調査により、独自にPMIを発表している。  
2. 製造業・非製造業の業況に関わる各項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。  
3. 統計対象社数は、国家統計局が3,000社（製造業）、4,000社（非製造業）、財新/マークイットが500社以上。

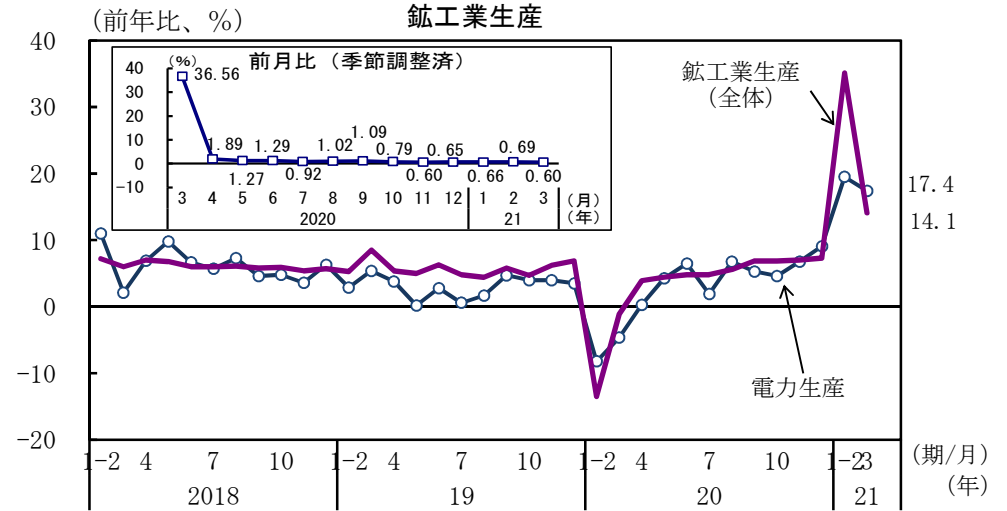


(備考) 1. 輸出入ともドルベースの金額。  
2. 春節(旧正月)休暇は、18年2月15～21日、19年2月4～10日、20年1月24～2月2日、21年2月11～17日。

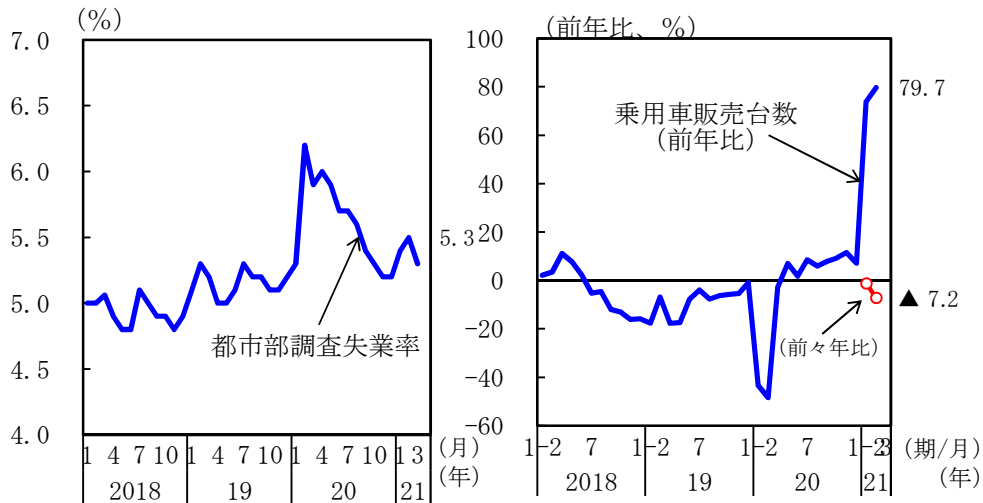
③消費は緩やかに持ち直している  
社会消費品小売総額



④生産はこのところ伸びがやや低下している  
鉱工業生産

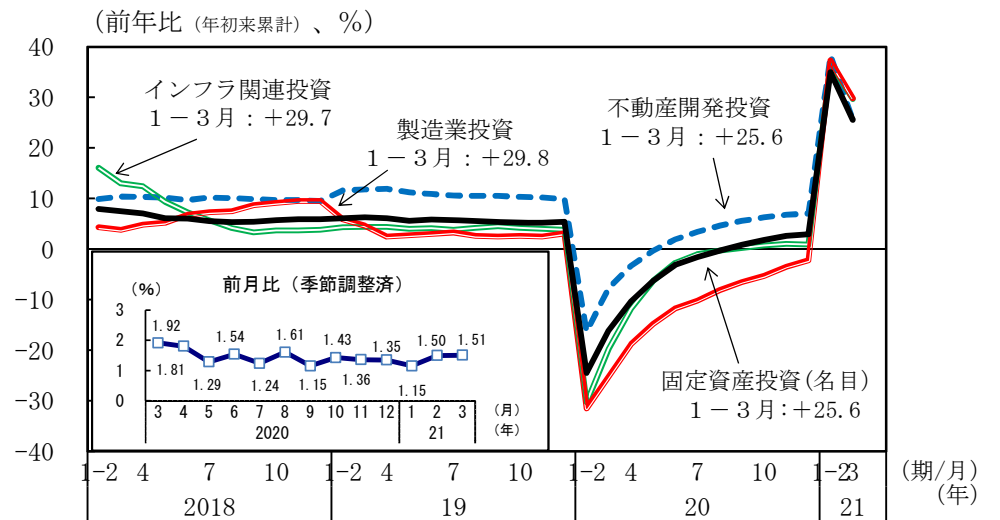


都市部調査失業率はこのところやや上昇している  
3月の乗用車販売台数は前々年比で減少

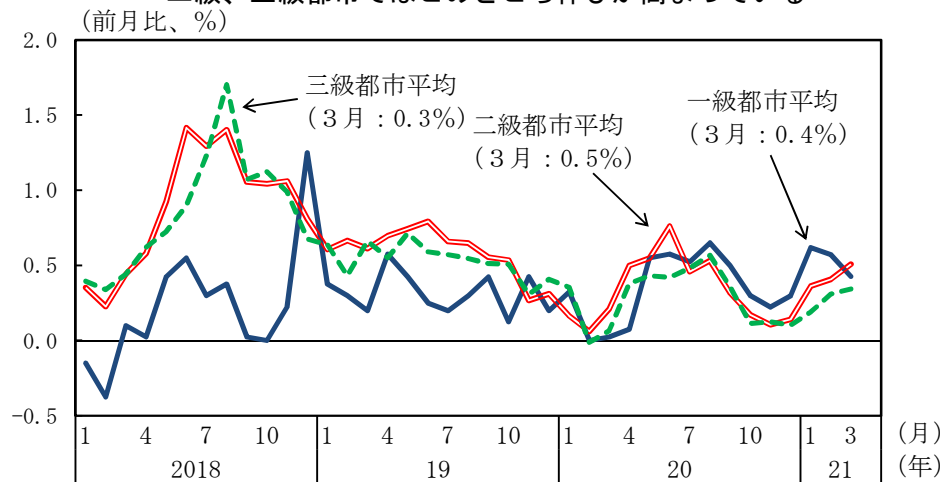


(備考) 乗用車販売台数は出荷ベース。年間販売台数 (前年比) は、18年4.1%減、19年9.6%減、20年6.0%減。21年1-2月、3月の前年比は、前年の新型コロナウイルス感染症の影響による大幅減の反動が大きいため、前々年比も記載している。

⑤固定資産投資は持ち直している

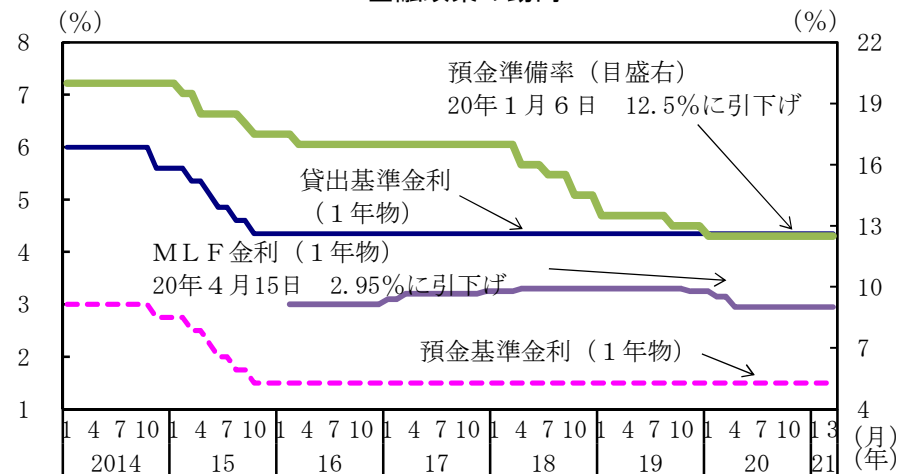


新築住宅販売価格は、一級都市ではこのところ伸びがやや低下  
二級、三級都市ではこのところ伸びが高まっている



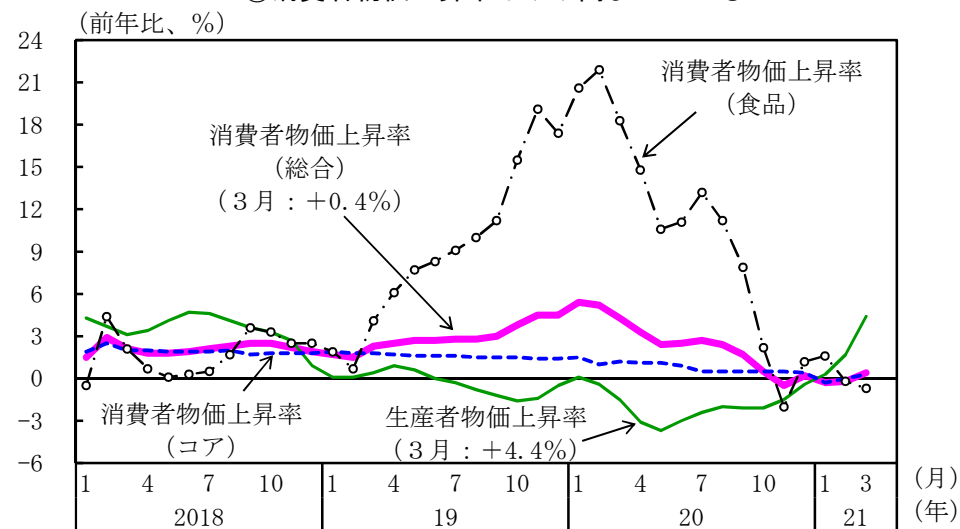
(備考) 一級、二級、三級都市平均は、該当する都市の価格指数の単純平均。

金融政策の動向



- (備考) 1. 預金準備率は、大手金融機関向けの預金準備率。  
2. MLFとは中期貸出ファシリティの略。中央銀行から金融機関への資金供給手段の一つ。1年物は16年より実施。  
3. 小企業・農家等に対する融資が一定割合以上等の条件を満たした金融機関の預金準備率を18年1月25日以降引き下げた(0.5%ポイントまたは1.5%ポイント)。

⑥消費者物価上昇率はやや高まっている



(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

人民元名目為替レート



(備考) 15年8月11日-13日、中国人民銀行は人民元取引基準値を前日比▲4.5%引下げ。元安誘導を実施。

## その他アジア（韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド）：

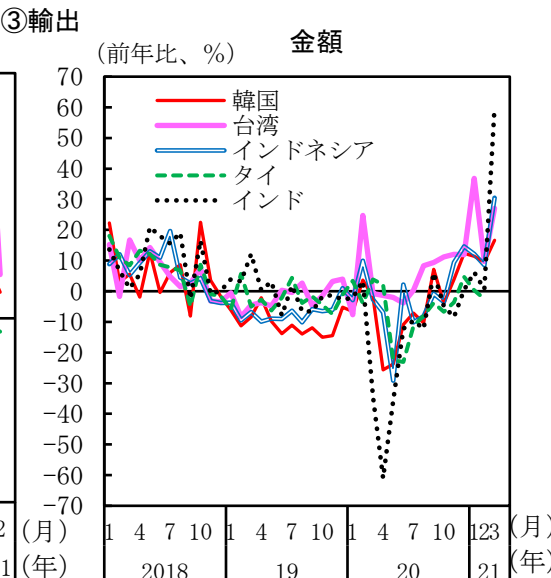
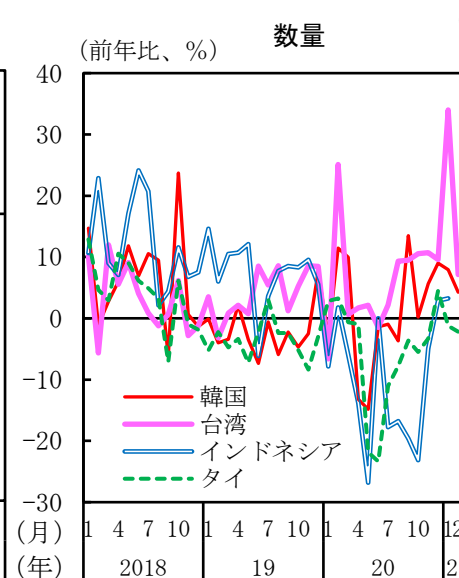
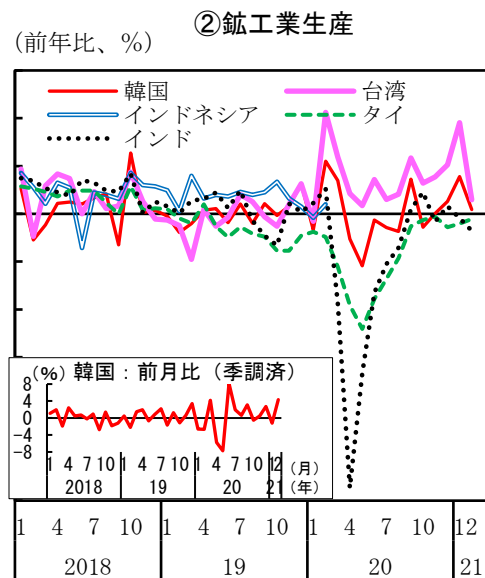
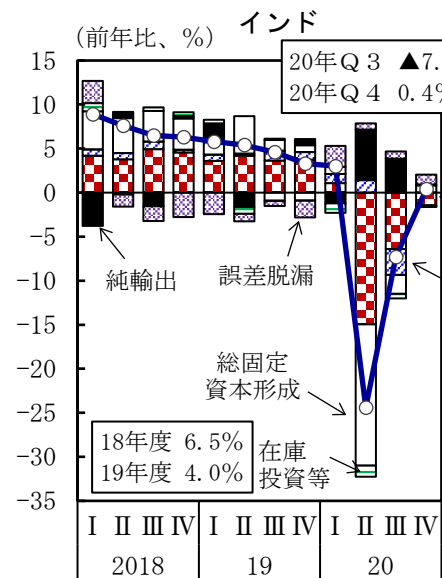
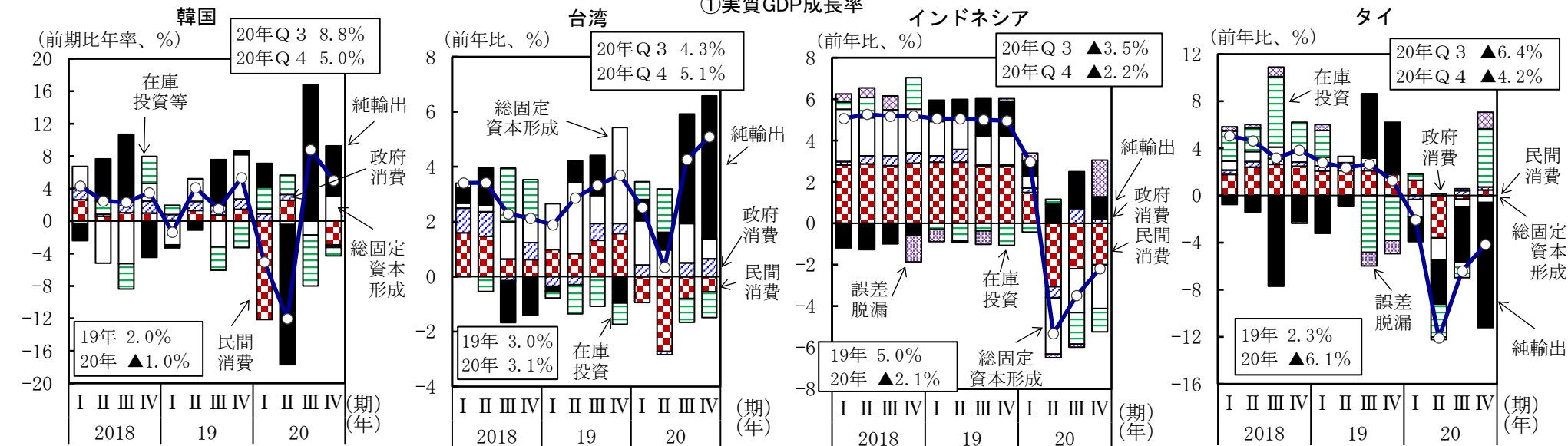
○韓国では、景気は厳しい状況にあるが、持ち直している。台湾では、景気は緩やかに回復している。

インドネシアでは、景気は厳しい状況にあるが、下げ止まっている。タイでは、景気は厳しい状況にあるが、下げ止まっている。

インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直している。

ただし、足下の感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。

### ①実質GDP成長率



(備考) 年度は、4月～翌年3月。

(備考) インドネシア、タイは製造業生産。

(備考) インドの数量は未公表。

(備考) ドルベース。